

2023年度 事業計画

「潤いのある郷土づくり、豊かでゆとりのある個人生活づくりに寄与する」という設立目的を十分に踏まえつつ、取り巻く環境および社会情勢の変化に対応しながら事業活動を展開します。

また、当財団事業の地域への浸透を促進すべく情報発信力の強化に努めるとともに、引き続き効率的な事業運営に取り組みます。

1. ギャラリー事業

郷土にゆかりのある作家を広く県民に紹介する企画展「郷土作家展シリーズ」を中心に、センター1階藝文ギャラリーをメイン会場として、隣接の藝文プラザを活用しながら展示の充実を図ります。

また銀行のショーウィンドウなどの施設を利用した展示を行い、より広い層への芸術普及に努めます。

(1) 企画展の開催

郷土作家展シリーズを5回、所蔵作品展を1回実施します。

[藝文ギャラリー展示年間計画]

会 期	日数	展 覧 会 名	ジャンル
2023年 4/ 1(土) ~ 5/28(日)	49	郷土作家展シリーズ第282回 井上英基展	陶芸
5/31(水) ~ 7/30(日)	52	郷土作家展シリーズ第283回 横須賀幸正展	洋画
8/ 2(水) ~ 10/ 1(日)	50	郷土作家展シリーズ第284回 佐藤豊展	日本画
10/ 4(水) ~ 11/26(日)	46	郷土作家展シリーズ第285回 額賀章夫展	陶芸
2024年 11/29(水) ~ 1/28(日)	45	慈しみの ^{まなざし} 眼 一所蔵作品展	全般
1/31(水) ~ 3/30(土)	51	郷土作家展シリーズ第286回 入江英子展	洋画

(2) その他の事業(受託)

- ① 常陽銀行ショーウィンドウ展示(本店営業部、土浦支店、平支店)
- ② 美術品管理
- ③ 常陽銀行カレンダー制作

2. 出版事業

郷土文化の発掘・記録・紹介を目的として『常陽藝文』を毎月発行します。

(1) 文化情報誌『常陽藝文』の発行

「藝文風土記」をはじめ各種コラムにより、郷土文化を幅広く取り上げていきます。

[藝文風土記・特集号年間計画]

月号	「藝文風土記」テーマ	執筆者	地域
4月号	1千キロ彷徨したラストサムライたち I	市村 眞一	県央
5月号	1千キロ彷徨したラストサムライたち II		
6月号	【特集】人間国宝・松井康成	茨城県陶芸美術館	県央
7月号	筑波海軍航空隊の記憶 戦争遺跡が語るもの	インクライン	県央
8月号	レトロな常陸太田の街並みを歩く	庄司 元雄	県北
9月号	100年前の茨城の世相と関東大震災	市村 眞一	全県
10月号	国営ひたち海浜公園の魅力を探る	庄司 元雄	県央
11月号	ユネスコ無形文化遺産・結城紬 結城紬に流れる時間・伝える人たち	インクライン	県西
12月号	【特集】霞ヶ浦沿岸の古墳	かすみがうら市歴史博物館 館長 千葉 隆司	県南 鹿行
1月号	神之池とまぼろしの御鴨場	池野 進	鹿行
2月号	筑波山地域ジオパーク	かすみがうら市歴史博物館 館長 千葉 隆司	県南 県西
3月号	母子島遊水地を訪ねる	高田 映子	県西

(2) 『常陽藝文』のウェブ配信開始

『常陽藝文』既刊の画像データによる保存は2023年3月に完了しました。その内、過去反響のあった藝文風土記等の記事をデータベース化、スマートフォンにも対応したコンテンツの友の会会員向け公開を予定しています。

(3) バックナンバーの販売促進

引き続き、テーマ毎のセットによる割引販売および関連講座・セミナー等開催時における直接販売を積極的に実施します。

3. 映像制作事業

郷土文化の発掘・記録・紹介などを目的としたビデオ番組を自主制作します。
また、公共機関等を中心に映像作品の制作を受託し、ノウハウの活用を図ります。

(1) 自主制作

今年度は郷土作家紹介の映像を5点制作します。

また、過去40年間に蓄積した200作品を超えるビデオライブラリーの認知度向上と活用を検討します。

[ギャラリー展示作家紹介DVD制作年間計画]

完成予定時期	作家名	ジャンル
2023年4月	井上 英基	陶芸
6月	横須賀 幸正	洋画
8月	佐藤 豊	日本画
10月	額賀 章夫	陶芸
2月	入江 英子	洋画

(2) 各種映像の受託制作

地方公共団体、文化団体などのほか一般企業からの映像制作を受託します。

4. 学苑事業

地域の教育・研究機関等と連携しながら、茨城県内を中心とした各分野の研究者・専門家に講師を依頼し、地域に根差した講座を展開します。

(1) 講座数・受講生数の計画

		2022年度 10月期実績	2023年度 4月期計画	2023年度 10月期計画
水戸教室	講座数	70	78	77
	受講生数	768	840	810
つくば教室	講座数	39	44	45
	受講生数	446	450	470
合計	講座数	109	122	122
	受講生数	1,214	1,290	1,280

[2023年4月期主な新規募集講座]

一般教養	(水戸教室) 健幸華齢～人生100年時代に備える～ (つくば教室) 岡倉天心と日本近代美術、やさしく学ぶアルゴリズム
文学	(つくば) やさしく読む『歎異抄』、金子みすゞ童謡詩の世界 『万葉集』-万葉びとの心の歌
歴史	(水戸) 満州移民と茨城、佐竹氏と県北地域の中世城館 (つくば) 常総地域の歴史を考える、石造物文化の歴史とその見方
民俗・宗教	(水戸) 茨城の祭りと民俗 (つくば) 外から見る日本の民俗
創作・工芸	(水戸) ゼロからスタート！油絵入門講座 (つくば) 目には見えない不思議な写真教室
提携講座 (提携先)	茨城の生物多様性を考える(茨城県生物多様性センター) 土浦の知られざる先人たち(土浦市立博物館) つくばの歴史再発見！(つくば市教育局文化財課)
ビデオ講座	いばらきの古墳Ⅰ～Ⅲ

(2) その他講座

①古典芸能鑑賞会	歌舞伎鑑賞会	1回	参加見込数	30人
②公開講座	地方史研究会	2回	参加見込数	80人

5. 施設サービス事業

常陽藝文センター施設を友の会催事や学苑教室の活動発表などに活用するほか、センター施設の効率的な活用のため、空き施設の一般への貸し出しを行います。

常陽藝文ホールは設備の老朽化のため2023年10月から一般への貸し出しを休止します。

6. 友の会事業

文化とのふれあいを通じて会員相互の親睦と豊かで潤いのある暮らしづくりに寄与することを目的に以下の事業を行います。

[藝文友の会会員数の計画]

	2022/3 実績	2023/3 見込	2024/3 計画	年間増減
個人会員	20,922	18,950	17,035	▲1,915
法人会員	1,124	1,090	1,050	▲40
合計	22,046	20,040	18,085	▲1,955

(1) 文化情報誌『常陽藝文』の発送・配布

平常号10冊、特集号(6月・12月)2冊 合計12冊配布

(2) ふれあい催事の開催（会員招待）

県内公共文化施設を中心に開催します。中央席（S席）、招待地区以外参加者の有料化を前向きに活用して、ニーズのある会員の参加機会拡大および満足度向上を図るべく広報活動を強化します。

会 場	交渉予定出演者（演目）	招待地区
日立市民会館	春風亭一之輔（落語）	日立・高萩・北茨城ほか
水戸市内ホールを予定	鼓 童（和太鼓）	水戸・常陸太田・鹿嶋ほか
つくば市ノバホール	岡 本 知 高（クラシック）	つくば・土浦・筑西ほか
大昭ホール龍ヶ崎（龍ヶ崎市文化会館）	加羽沢美濃&山田姉妹（クラシック）	龍ヶ崎・取手・稲敷ほか

(3) 藝文ホール催事の開催

開催予定月	出演者・演目
7月	國井美香アルトリサイタル
8月	第12回 茨城の名手・名歌手たち 藝文コンサート 出演：「茨城の名手・名歌手たち」オーディション合格者
11月	第17回 藝文フレッシュコンサート（いばらき文化振興財団共催） 出演：「茨城県新人演奏会」入賞者
2024年1月	第6回 藝文コンサート奏 出演：茨城にゆかりのある演奏者
2月	第13回 茨城の名手・名歌手たち 藝文コンサート 出演：「茨城の名手・名歌手たち」オーディション合格者

(4) 提携文化施設入場料の割引

<p>【提携文化施設】（2023年4月1日予定：計47施設）</p> <p>【美術館：13施設】 茨城県近代美術館、茨城県つくば美術館、茨城県天心記念五浦美術館、茨城県陶芸美術館、大洗美術館、笠間日動美術館、月山寺美術館、古河街角美術館、しもだて美術館、春風萬里荘、篆刻美術館、水戸芸術館現代美術ギャラリー、諸橋近代美術館</p> <p>【博物館：20施設】 アクアワールド茨城県大洗水族館、板谷波山記念館、茨城県立歴史館、大洗海洋博物館、大洗幕末と明治の博物館、北茨城市歴史民俗資料館（野口雨情記念館）、ギター文化館、古河文学館、古河歴史博物館、下妻市ふるさと博物館、大本山願入寺開基堂、常磐神社義烈館、常陸大宮市山方淡水魚館、日立市かみね動物園、日立シビックセンター科学館天球劇場、常陸風土記の丘、本場結城紬染織資料館手緒里、水戸市立博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、予科練平和記念館</p> <p>【健康・スポーツ・体験施設：14施設】 阿字ヶ浦温泉のぞみ、奥久慈茶の里公園、きぬの湯、四季彩館、乗馬クラブ・クレイン竜ヶ崎、竜っちゃん乃湯、つくば牡丹園、つくば湯、ぬく森の湯、ビアスパークしもつま温泉施設、ホロルの湯、森林の温泉、八千代グリーンビレッジ憩遊館（けいゆうかん）、竜神大吊橋</p>

7. 史料館事業

地域との連携を深めながら、一層親しまれる文化施設を目指して来館者の拡大と定着を図ります。

(1) 金融教育事業

貨幣ギャラリーにおいて「貨幣の歴史」「銀行の歴史」を常時公開するほか、学生・生徒向けやワークショップ開催時等、随時「史料館ツアー」を実施して、参加者の金融に関する理解促進に努めます。

(2) アートスポット展

会期	日数	展覧会名または展示作家名
2023/4/1(土)～5/21(日)	44	七宝 班目和彦展
5/30(火)～7/16(日)	42	笠原鉄明 彫刻展
7/25(火)～9/17(日)	46	辻本京子(粘土工芸)
9/26(火)～11/12(日)	42	日高朋子(創作人形)
11/21(火)～2024/1/14(日)	41	山中庸子(洋画)
1/23(火)～3/17(日)	48	槇野さやか(ガラス工芸)

(3) 史料ライブラリー 図書資料展

会期	日数	図書資料展名	備考
2023/4/1(土)～5/21(日)	44	徳川昭武	生誕170年
5/30(火)～7/16(日)	42	永井路子	2023年1月逝去
7/25(火)～9/17(日)	46	お金について調べよう	金融教育
9/26(火)～11/12(日)	42	岡倉天心とゆかりの人々	生誕160年
11/21(火)～2024/1/14(日)	41	俳人・高野素十	生誕130年
1/23(火)～3/24(日)	54	山村暮鳥	生誕140年

(4) 移動史料展

常陽銀行営業店のロビーなどで史料展を開催し、史料館のPRに努めます。

以上